

2025年10月31日

株式会社オープンハウスグループ

〒100-7020 東京都千代田区丸の内2-7-2

JPタワー20階（総合受付）・21階

<https://openhouse-group.co.jp/>

みなと銀行主催「企業版ふるさと納税活用セミナー」に 当社サステナビリティ推進部 横瀬寛隆が登壇

株式会社オープンハウスグループ（以下、当社）より、当社サステナビリティ推進部副部長 横瀬寛隆が2025年10月29日（水）に開催された「企業版ふるさと納税活用セミナー」（主催：株式会社みなと銀行（兵庫県神戸市、代表取締役社長 持丸秀樹、以下「みなと銀行」））に登壇し、企業版ふるさと納税を活用した「官民連携アリーナ建設」及び「温泉街廃墟再生」について紹介いたしました。



本セミナーは、みなと銀行が地域金融機関として、企業版ふるさと納税を活用した持続的な地域活性化に資する事業を応援し、寄附を受ける地方公共団体と寄附をする企業双方の「想い」を繋ぐ役割を担う活動の一環として開催されました。

当社は、地域の資源や特長を生かし新たな価値を共に創造する「地域共創」に取り組んでおります。地方公共団体をはじめとする様々なステークホルダーと協力しながら、地域が抱える課題を解決する中で、これまで企業版ふるさと納税を活用した寄附を実施してまいりました。

群馬県太田市「オープンハウスアリーナ太田」について

当アリーナは、官民連携型スポーツ拠点の象徴として、2023年4月に群馬県太田市に完成した市民体育館です。建設時には、当社グループから太田市へ企業版ふるさと納税を活用した寄附を行い、太田市の財政負担を大幅に軽減いたしました。また、現在は、地域のスポーツエンターテインメント拠点、市民スポーツ拠点、世代を超えて人々が集う交流拠点として利用されているほか、群馬クレインサンダーズのホームアリーナとして多くの観客を呼び、官民一体となって整備した「地域共創型アリーナ」は持続可能な地域活性化の核となっています。



地域共創

群馬県みなかみ町「廃墟再生プロジェクト」について

当社は2021年より、群馬県みなかみ町にて、地域のステークホルダーと協力しながら、水上温泉街の再生に取り組んでいます。水上温泉街では大規模な旅館やホテルが廃墟化し地域課題となっています。当社は旅館「一葉亭」の跡地の活用において、みなかみ町に企業版ふるさと納税を活用した寄附を行い、廃墟化した既存の建物を活かして適切に再生させる「減築&再生」という新しいアプローチによってプロジェクトを進めています。



上記2つの事例を用いて、企業版ふるさと納税の活用のポイントについて、官民のビジョンの一致、地域を共創するパートナーとして対話を重ねること等をお話しさせていただきました。当社は今後も地域社会との連携を強化し、持続的な発展に貢献してまいります。



サステナビリティ推進部 副部長
横瀬 寛隆

大学在学中に隈研吾研究室にて建築及び都市計画を学ぶ。大手組織設計事務所に入社後、大規模複合再開発の意匠設計を担当。その後、外資系不動産デベロッパーにてリゾート開発の経験を経て、2018年当社に入社。群馬県を中心に展開している様々な地域共創プロジェクトを率いる。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社オープンハウスグループ サステナビリティ推進部
MAIL: ml-sustainability@openhouse-group.com

尚、メディア関係者様からのお問い合わせについては下記までお願いいたします。
<広報PRグループ> 【TEL】03-6213-0783 【MAIL】pr@openhouse-group.com